

Architects of the Year 2017 「越境プロジェクト」展

2017.10.27 FRI ~ 11.12 SUN
ギャラリー 日本橋の家
生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2017 連携イベント



(C) 大西真

「床大の家」でできる建築教室

伊藤聡宏
(伊藤聡宏設計孝作所)



(C) 池本和弘

伊藤智寿
(いとうともひさ)



(C)yahikoworks

勝亦優祐・丸山裕貴・カタチトナカミ / 佐竹雄太
(勝亦丸山建築計画・創造系不動産)

「西日暮里のシェアハウス + Multi feat.KMA」



(画像提供)OurPlanet-TV

三本木 敬
(フリーランス)

「千年の越境 - 平安期方池儀礼空間の現代的再解釈」



鈴木亜生
(ARAY Architecture)

「鹿児島島の住宅」



「農小屋 alternative greenhouse」

中島亮二・桂川大
(中島農園・一級建築士事務所 Eureka)



野口理沙子・一瀬健人
(イスナデザイン)

「“見方”を建築する」



橋本圭央・白石圭・康未来
(cosmopolitan/workshop・S 設計室・日建設計)

「デ / リタッチ：不協和音の庭」



森藤文華
(2.5 architects)

「茶積庵」



Tan Yamanouchi
(AWGL Inc.)

「評価経済時代における、ケニウス・ロキ」

Architects of the Year 2017 「越境プロジェクト」展

2017.10.27 FRI ~ 11.12 SUN
ギャラリー 日本橋の家
イケフェス大阪 2017 連携イベント

若手建築家らによる企画展「Architects of the Year 2017」を開催します。2015年からスタートした本展では、「その年の建築家」とも呼ぶべき新進気鋭の若手らが、毎年異なるコミッショナーによって投げかけられたテーマに応え、展示を行います。3回目となる今回は、遠藤秀平が「越境プロジェクト」をテーマに出展者を公募。選ばれた10組の「越境」は、建築界の既存の枠組みを越えようとする挑戦的な試みです。素材や表現、時間や記録方法、コラボレーションのあり方といった各々の視点から、必ずしも建築家の活動領域にはなかった行為によって、建築の可能性を示してくれるでしょう。

〈出展プロジェクト〉

「麻太の家と誰でもできる建築教室」
伊藤聡宏 (伊藤聡宏設計事務所)

「IBONAKA DOCUMENTATION」
伊藤智寿 (いとうともひさ)

「西日暮里のシェアハウス +Multi feat.KMA」
勝亦優祐・丸山裕貴・カタチトナカミ/佐竹雄太 (勝亦丸山建築計画・創造系不動産)

「千年の越境 -平安期方池儀礼空間の現代的再解釈」
三本木敏 (フリーランス)

「鹿児島の住宅」
鈴木亜生 (ARAY Architecture)

「農小屋 alternative greenhouse」
中島亮二・桂川大 (中島農園・一級建築士事務所 Eureka)

「“見方”を建築する」
野口理沙子・一瀬健人 (イスマデザイン)

「デ/リタッチ：不協和音の庭」
橋本圭央・白石圭・康未来 (cosmopolitan/workshop・S設計室・日建設計)

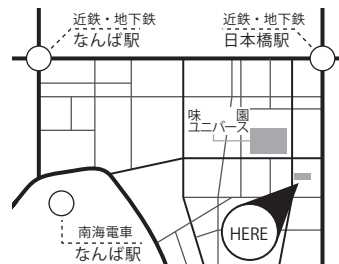
「茶積庵」
森藤文華 (2.5 architects)

「評価経済時代における、ゲニウス・ロキ」
Tan Yamanouchi (AWGL Inc.)

会期： 10月27日(金)～11月12日(日)
時間： 10時～16時/会期中無休
会場： 日本橋の家 (大阪市中央区日本橋2-5-15)
入場料： 27日～29日は無料
(生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2017連携期間)
30日以降は500円(大学生以上)
※建物の入場料であり、展覧会自体は無料です。
定員： 20名程度で随時入場制限します(入れ替え制)
イベント： 11月5日(日)・6日(月)・12日(日)
(遠藤秀平・倉方俊輔・出展者が登壇 午後を予定 詳細はHPへ)

〈会場までのアクセス〉

最寄り駅：
地下鉄・近鉄「日本橋駅」より
徒歩3分
地下鉄・近鉄・阪神・南海
「なんば駅」より徒歩10分
(「味園ユニバースビル」南東角
を南へすぐ)



展覧会コミッショナー：遠藤秀平 (建築家/神戸大学大学院教授)
展覧会コーディネーター：竹口健太郎 (アルファヴィール一級建築士事務所)
日本橋の家プロデューサー：倉方俊輔 (建築史家/大阪市立大学准教授)
会場提供：金森秀治郎 (日本橋の家オーナー)
会場構成：吉川青 (アトリエトレス)
企画協力：uug
主催：一般社団法人日本建築設計学会
協力：生きた建築ミュージアム大阪実行委員会

www.adan.or.jp

イケフェス大阪 2017 連携 「日本橋の家」一般公開

「日本橋の家」は日本を代表する建築家・安藤忠雄設計の、大阪・日本橋にある住宅です。オーナーの金森氏は、この名建築のもつ魅力を世間に広く公開し、関西の建築を発信する拠点とすべく、2016年に改修工事を実施し、コンクリート打ち放しの美しいギャラリー空間として生まれ変わりました。Architects of the Year 展は、今回から「イケフェス大阪 (生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪)」と連携しており、会場となる「日本橋の家」全館の一般公開にあわせ、そのすべての空間を活用した展覧会となります。



昨年の様子

〈ご注意とお願い〉

「日本橋の家」は住宅として建てられました。4階建てですが、エレベーターはなく、階段は急であるため、ご自身で上がることのできない方の入場はご遠慮ください。また、どの通路も狭く、混雑すると危険です。状況に応じて入場を制限させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

